

令和6年度 英語科 授業改善推進プラン

大田区立蒲田中学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・パフォーマンステストの計画的な実施により、思考・判断・表現の力を高めることができた。
- ・文脈にあった語形・語法の使い方の定着が見られ、基本的な文法事項の運用力が高まった。

(2) 課題

- ・与えられたテーマでの作文はできるが、場面に応じた表現を用いて作文する力が弱いいため表現の運用力を身に付ける必要がある。
- ・まとまった英語の文章を読み解く力を身に付けさせるのが課題である。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率（経年比較）

	令和6年度結果	令和5年度結果	令和4年度結果
第1学年	目標を上回っている	/	/
第2学年	目標を上回っている	目標を上回っている (第1学年時)	/
第3学年	目標を上回っている	目標を上回っている (第2学年時)	目標を上回っている (第1学年時)

(2) 分析（観点別）

① 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・目標を上回っている。 ・基本的な語句や文の意味は概ね理解している。 ・アルファベットを読む、書く力を十分に身につける必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・目標を上回っている。 ・会話を聞いて概要を捉える力を付ける必要がある。 ・自分に関することについてさまざまなテーマで表現する力が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・目標を上回っている。 ・概要を捉えようとしたり、自己表現をしようとしているが、さらに積極的な姿勢が必要である。

② 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・目標を上回っている。 ・単語の並べ替えによる英作文の力はある。 ・語彙・語法の知識の定着が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・目標を上回っている。 ・さまざまな会話を聞き取り、概要を掴む力はある。 ・場面に応じてまとまった英作文を書く力はある。 ・まとまった英文を読み解く力をつける必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・目標を上回っている。 ・自分のしたいことについて相手に伝わるように書こうとしている。 ・読んだり、聞いたりして内容を把握しようとする積極的な姿勢が必要である。

③ 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・目標を上回っている。 ・語形・語法の理解や並べかえによる作文の力はある。 ・リスニングによる内容に理解、対話文の応答はできている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・目標を下回っている。 ・まとまった文章を読み解く力が必要である。 ・場面に応じて英文を書く力や、自分考えを英語でまとめる力が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・目標を下回っている。 ・既習表現を使って英語で伝えようとする力が必要である。

3 授業改善のポイント（観点別）

(1) 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・日常の書く活動の中で、アルファベットの定着を図るように指導する。 ・新出の文法事項を学習する際には、それを活用したやりとりを反復して行い、聞き取る力を向上させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・帯活動やALTとの対話練習を通じて、さまざまなテーマで表現する力をつける。 ・自分の興味がある事柄について、調べたものを発表することで表現力を向上させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分が気になることについて調べ学習を行い、英語に関する好奇心を高める。 ・帯活動での単語テストや段階別パフォーマンステストにより、授業に向けた学習の習慣を身につける。

(2) 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・小テストや単元テストで基本的な文法や語彙の定着を図る。 ・意味が分かるようになった文を音読・暗唱して表現力につながる知識・技能の定着を図る。ICTを活用する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・帯活動での対話練習やパフォーマンステストを通じて、さまざまなテーマで表現する力をつける。 ・まとまった文を聞くときや読むときに、場面や状況を捉えているかどうか必ず確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・帯活動で日常生活に関する英問英答やスモールトークを行い、積極的に表現する生徒を育てる。 ・ALT講師と少人数で対話を行い、概要を聞きとったり、既習表現を活用して話したりする機会を設ける。

(3) 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none">各単元で文法や語句をワークシートを用いて反復練習し、定着を図る。基本的な文法や表現を用いた会話練習を帯活動で行っていく。	<ul style="list-style-type: none">読解力を付けるために、短い文章を読み解くことからはじめ、話の背景や取り上げられて内容を確認する。テーマに基づいた英作文を行い、自分の考えを英語で表現できる力を付ける。	<ul style="list-style-type: none">授業ワークシートに各自で取り組む作文課題を出題し、英語の運用力を確認できるようにする。ALT 講師とのパフォーマンステストを行い、積極的に英語を話そうとする生徒を育てる。